

■関越自動車道・赤城Cスタート→利根村→壺原湖→老神温泉→椎坂峠→迦葉山→石神峠→月夜野町→群馬サイクリススポーツセンターゴール（'91年2月試走）

見ごたえのある吹割の滝 4割引直売の月夜野クリスタルガラス 上毛高原駅だけの自然水と盛りだくさん



情報ON TIME

沙羅英慕のカレーと
コーヒーは絶品!
古谷智雄/桜川裕之



2輪のレース仲間、桜川くんをナビに早めに自宅を出る。彼はPDQMは初参加で、かなり乗り気。リヤシートにビデオカメラをセットして今後の参考にするに張りきっている。

途中、関越道は毎度おなじみのスキー渋滞で、川越→前橋間はびっしり。だが、その先はなんとか流れて赤城ICへやっと到着。早速、ビデオをセットしてスタートする。朝早いため、路面は完全なアイスバーン。しかも、チェーンの跡がさまざま、水のウオッシュボードといったところだ。

各CPを無難にこなし、3CPの追いつドラブインへと到着。途中気になったR120も、1か所ノーマルタイヤ装着車のスタック渋滞があった程度で拍子抜け。ともかく川越→尾瀬岩鞍間7時間半という渋滞経験を持つ身としては、もの足りなかった!?

軽く朝食をとって、第一目的地の椎坂峠へと向かう。この「沙羅英慕」のカレーとコーヒーは絶品で、スキーに行くときには必ず寄っていくのだが、今回は時間が早過ぎてアウト。

気を取り直して走り始めたら、10回がない。R120を行ったりきたり、ここまでノーマスだったから、先行きに不安を覚える。

ナメコセンターでは、6年前と変わら

CHECK POINT



4CP 9 関先・椎坂ドライブイン 左手の電話ボックス 横に沙羅丸の看板



S 1 関・関越道赤城IC 関越道沿いの道をリターン 停止線に合わせる



5CP 11 関先・玉原物産直売センター 左手の天狗の看板 後続車に注意



OD 2 関先・ノーザンC C 赤城ゴルフ場の大看板 ここまで9.20km



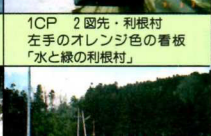
6CP 12 関先・道葉山石段の一番下の赤い横干 後続車に注意



1CP 2 関先・利根村 左手のオレンジ色の看板 「水と緑の利根村」



7CP 15 関先・月夜野町大沼 「左手の東道・道木佐山沼田線……」の標識



2CP 4 関先・文化橋 橋を渡りきった道路との縦ざ目 後続と対向車に注意



G 22 関先・群馬サイクルスポーツセンター「森林浴と健康の……」の大看板



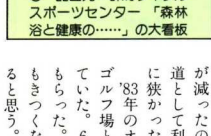
3CP 9 関・追貝 右手の追貝ドライブインの大看板 後続車に注意



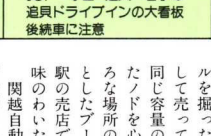
G 22 関先・群馬サイクルスポーツセンター「森林浴と健康の……」の大看板



3CP 9 関・追貝 右手の追貝ドライブインの大看板 後続車に注意



G 22 関先・群馬サイクルスポーツセンター「森林浴と健康の……」の大看板



G 22 関先・群馬サイクルスポーツセンター「森林浴と健康の……」の大看板

赤城ICをスタート。クルマはK.P.61、3年間でまだ数回しかラリーに使われていないかわいそうなクルマだ。

赤城山の北麓を周回する広域農道は、適当なアップダウンとコーナーが続く。走っているも楽しい、眺望もすぐれているのんびりドライブするにいい。釣り人てにぎわう蘭原湖を抜けて、老神温泉への近道に入る。老神温泉街を通る狭い道は、あつけない通過す。朝の温泉街は人通りもなく寂しい感じである。

これは対照的に、追貝の吹割の滝付近は地元の産物を売る土産物屋や食堂で大変にぎやか。値段も安く掘り出し物をもつたり、ひやかして歩くのも楽しい。

滝への下り口は2か所あり、周遊路はきれいに整備されている。

吹割の滝は、地元のパンフレットによると「東洋のナイアガラ」と称しているが、スケールからいって「本家」ナイアガラに失礼だ。せめて36分の1のスケールとでも入れておいてくれ。しかし、それはともかく、なかなか見事な滝だ。

椎坂峠のドライブインに皿投げがあった。

昔は、たぶん「カワラケ投げ」と言ったと思うが、現在は「希望の皿投げ」とい。皿が少し小さめだったが、空高く投げるのは気分がいい。

道葉山に向かう途中で、造り酒屋・永井本家があった。看板も小さく、目立たないが、中に入ると体育館かと思われるほど広い。醸造タンクがずらりと並ぶ酒倉を見せてもらって、やつと造り酒屋とわかるほどである。

「利根郷」がその酒の名で、にこり酒は若干甘い気もするがさらりとした飲みやすい酒だ。ご主人の話では、小売りには力を入れているという。幸先にはお勧めの一本。

道葉山の少し手前には、なまこ直売所が出ていた。ここで、なまこ汁の無料サービスをしている。ほかの農産物も安く売っているが、何よりも「このうどん」がうまい。大きな井になまこがどっさり、5cm角のトリ肉がゴロッと入っていてボリュームもたっぷり。絶対にお勧めする。

道葉山は一方通行になっていて、急勾配のアップダウンはひと昔前の山道を思い出させてくれる。

今まてうかつにも気がつかないが、麓

には参道があった。現在は歩いて登る人もほとんどいないとみえ、石段は苔むし、まるで遺跡のような感じだ。道葉山勢勒寺は天狗の寺として有名で、巨大な天狗の面がいくつも奉納されている。

佐山はリンゴの里だ。あまり知られていないが、11月上旬まで良いリンゴが採れる。しかし直売所の売り値が統一されているのが味気ない。

石神峠は、地図ではつながついていないが、頂上付近の1kmほどは昔のままの気分のよい道が残っている。

月夜野にある「上越クリスタルガラス」は、ウィークデーには工場見学ができる。ここもパンフレットには「全国で唯一見学ができるガラス工場」とあるが、見学できるガラス工場はほかにもある。

またガラス教習が設置され、試技コースの輪差しの花びん作りも人気があるが、観光客の目的は、なんともいっても4割引きの直売コーナーのようだ。掘り出し物をおさる女性客でいっぱい。男性客はたわろウロしていただいている。

しかし2階には芸術作品などが展示されて

ぬきのこうどんの値段に感激。無料サービスのなまこ汁に舌鼓を打つ。お土産になまこを仕入れて一路6CP道葉山へ。

上りは一方通行のはずなのに、途中でクルマが下ってきたのにびっくり。山頂の一部が除雪されていたためとて、ここは歩測して7CPへ向かう。

7CPから三国街道を抜け、ゴールの群馬サイクルスポーツセンターへまっしぐら。ところが、またしても除雪されていない道に行く手をはばまれる。とりあえず残す51600mを歩測しようとしたが、思いのほかの積雪で断念する。

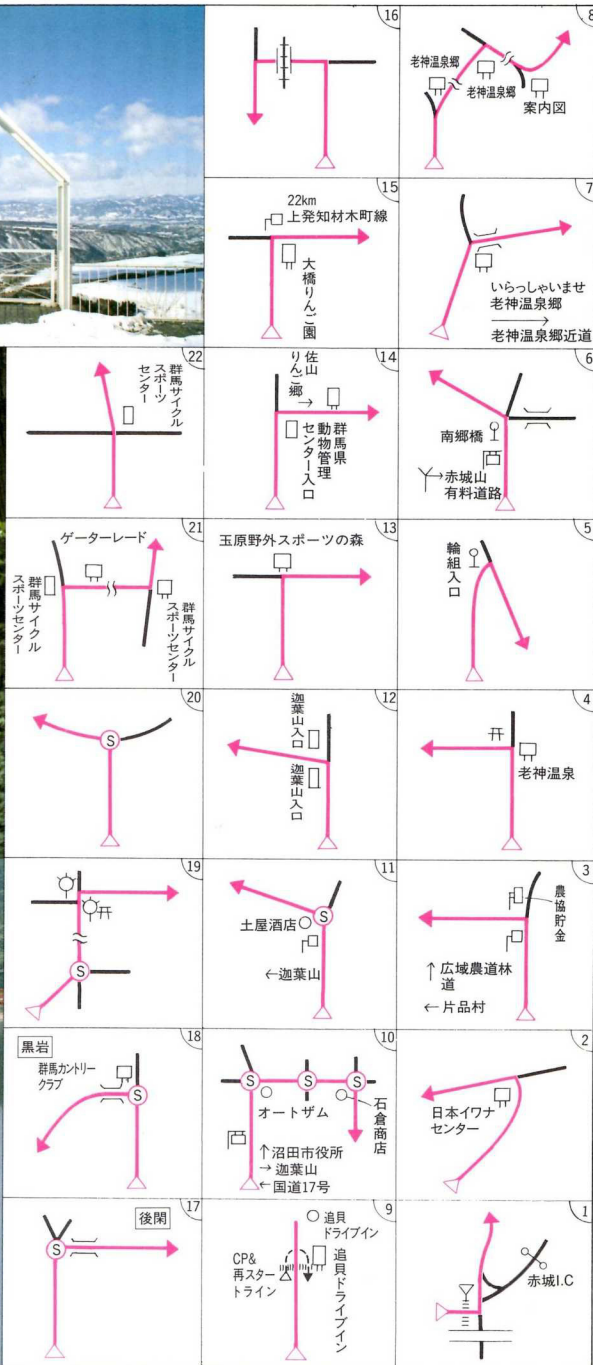
膝から下を雪まみれにしてクルマにたどり着き、ゴールを探さべくR17へ逆戻りする。勝手に赤谷湖をゴールとして記念撮影。帰りの渋滞に巻き込まれないよう、早々に帰途に就く。それにも、雪カキはツ・カ・レ・タ……。

いるので、女性客に圧倒された人はこちらに逃げ込む。

今回のコースからははずれてしまうが、上越新幹線上毛高原駅の売店では新清水トンネルを掘った時に湧き出したという水を缶詰にして売っている。自動販売機の缶ジュースと同じ容量の缶に入った冷たい清水は、かわいたノドを心地よく潤おしてくる。いろいろな場所の「自然水」が売られる。ちよとしたプームを呼んでいるようだが、JRの駅の売店では売っていないというから、興味のわいた人は寄り道してみたら。

関越自動車道が全通して、めったに交通量が減ったのが三国街道。混雑するR17の抜け道として利用されていたが、昔の道はこんなに狭かったのかと驚かされる。

'83年のオールドスタイルのコースには、ゴルフ場とサイクルスポーツセンターができていた。6kmのコースをクルマで走走させてもまったく。あまり広くはないがアップダウンもさつなく、1周するとはよい運動になると思う。





此方治一切瘡毒... 凡患此症者... 宜服此方... 每服一錢... 每日三次... 忌食辛辣... 忌食生冷... 忌食油膩... 忌食酒色... 忌食房事... 忌食大怒... 忌食憂鬱... 忌食思慮... 忌食勞心... 忌食勞力... 忌食勞神... 忌食勞心... 忌食勞力... 忌食勞神...

鮮文化
齋

⑤ 図先の蘆原湖はダムによってせき止められた人造湖だが、そのダムの提高(ダムの高さ)は何mだろう？

情報 ON TIME

ナメコセンターの超お勧め品
無料のナメコ汁ときのこと
カレーの盛り放題がイイ

高橋英樹 &
ファミリー



北群馬山岳コースを
走行することに決めて
から、毎日地図にとら
めっこ。子持村に住む
友人に聞くこと
「このコースではほと
んど雪で、特に老神温
泉とか石神峠はすごい
冷じやないの」とのき
つい言葉。

スタート地点に着いたのが10時30分。軽
く腹ごしらえをしてODへと向かう。間
もなく、雪があらちこちらに見えはじめ
不安な気持ちで1CP、2CPへと進ん
だが、間Aの所でとうとうミスコース。
ナビの妻と意見の食い違いが生ずるの
は毎度のこと、またしてもケンカ状態に
なる。小さな子供連れだけに最悪だ。
追員ドライブインで昼食兼ひと休み。
ここの手打ちうどんはなかなかうまい。
店は何軒あったが、どちらかといえ
ば、大きいほうより小さいほうがよさそうに
思ったのが正解だった。
3CPから再スタートしたら、10図の
太助庵を予想よりもずっと手前で発見す
る。まさかここにはあるまいと前へ進ん
だが、それらしきものはない。Uターン
して太助庵に入って聞いてみると、1年
ほど前に移転したとのこと。がっかりし

たが再び気を取り直して進む。今度は19
図がわからない。すっかり暗くなった道
を2度3度行ったりきたり。結局、わか
らぬまま行つて、ようやく20図にたどり
着いた。
雪の中、突然、小ダスキが2匹飛び出
してくる。タスキに注意の看板が必要
だと思った。

ゴールの群馬サイクルスポーツセンタ
ーは、雪で入り口が閉鎖。仕方なくこの
日は帰途に就き、翌週も一度挑戦した。
ともかく、コマ地図の看板がなくなら
り、変わっていきなり、本当に大変だ
った。

特筆大書したいのは、6CPで食べた
無料のなめこ汁。抜群のうまさだった。
また、きのこカレーの盛り放題（600
円で自分で好きなだけ盛っていい）は、
超お勧め品だ。



“東洋のナイアガラ”と呼ばれている吹割の滝。冬は凍結するため注意。



赤谷湖畔より三国山方向を眺む。冬期は雪また雪——やはり秋が見ごろ。



⑧ゴールは群馬サイクルスポーツセンターだが、伊豆修善寺にもサイクルスポーツセンターがある。どちらのコースのほうが長い？



⑨18図先、三国街道八里口の村三八幡宮の大けやきの樹齢は？①300年以上②600年以上③900年以上



⑩月夜野にある上越クリスタルガラスは見学できるガラス工場。全国で唯一というが、実はもう1つある。その工場のある都市名は？